

第十一次基本計画 実施計画（目的指向体系表）

政策目標 1 安全で安心して暮らせるまち

施策 1－1 危機管理体制の充実

施策 1－2 総合治水対策の強化

施策 1－3 災害に強い建築物や公共施設の整備

施策 1－4 生活安全の推進

施策 1－5 消防体制の強化

担当課	危機対策課・水道課・下水道課・社会福祉課・健康推進課					施策1-1の全指標達成率					
政策目標	1	安全で安心して暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7			
施策分野	1	危機管理体制の充実	指標数	22	22	22	22	22			
目指す姿	市民、観光客等が、自然災害等により死傷しない		達成数	14	14	15	0	0			
			達成率	63.6%	63.6%	68.2%	0.0%	0.0%			

1 成果指標 (KPI)			指標数	1	1	1	1	1		
成果指標	発災時の人的被害者数	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	0	0	0	0	0	人	危機対策課
		6人	実績値	0	0	0				
評価		〇 達成	〇 達成	〇 達成						
目標値の考え方	大規模自然災害時における人命の保護を最優先とした、事前防災対策を推進していくため発災時の人的被害者数を0人に設定した。									
R3年度	(実績評価) ・熱海市で大規模土石流災害発生の原因となった大雨で、本市においても7月1日から4日の間避難所を開設し、避難者8人を受け入れたが、死傷者を出すような大規模な自然災害の発生はなかった。 (次年度修正点) ・修正はなし。引き続き人命の保護を最優先とした、事前防災対策の推進に努めていく。									
R4年度	(実績評価) ・8月13、14日及び9月24日に大雨のため避難所を開設し、合計5名の避難者を受け入れたが、死傷者を出すような大規模な自然災害の発生はなかった。 (次年度修正点) ・修正はなし。引き続き人命の保護を最優先とした事前防災対策の推進に努めていく。									
R5年度	(実績評価) ・6月2、3日及び3月29日に大雨のため避難所を開設し、合計9名の避難者を受け入れたが、死傷者を出すような大規模な自然災害の発生はなかった。 (次年度修正点) ・修正はなし。引き続き人命の保護を最優先とした事前防災対策の推進に努めていく。									
中間評価	(達成状況)	A								
	(実績評価)	・これまでの間、人的被害を出すような大規模災害の発生はなかったが、総合防災ガイドブックや防災講話等による周知・啓発活動等により、住民の防災意識が高まっていることも考えられる。								
	(今後の対応)	・引き続き人命の保護を最優先とした事前防災対策の推進に努めていく。								

2 基本的な取組 (2桁コード) ・主な内容 (4桁コード)			指標数	21	21	21	21	21	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況		
			達成数	13	13	14					
			達成率	61.9%	61.9%	66.7%	0.0%	0.0%			
O1 津波避難困難地区の解消	達成状況	指標数	2	2	2	2	2				
		達成数	1	1	1	0	0				
		達成率	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%				
	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O101	津波避難協カビルの新規指定	津波避難協カビルの指定数	R1	目標値	42	44	46	48	50	棟	危機対策課
			39棟	実績値	39	38	38				
			評価	× 未達成			× 未達成				
O102	海拔表示や避難方向誘導サインの設置	津波避難標識設置に伴う新規事業数	R1	目標値	1	1	1	1	1	事業	危機対策課
			1事業	実績値	1	1	1				
			評価	〇 達成			〇 達成		以上		
R3	O101 津波避難困難地域の解消率が99.1%となっているが、残り0.9%については津波避難協カビルの指定では解消されない状況である。避難の選択肢を広げるために引き続き津波避難協カビルの指定を行っていくとともに、0.9%の解消に向けた検討を継続していく。										
	O102 津波避難標識看板を3基(オレンジビーチ内・なぎさ公園駐車場・藤の広場内)設置した。今後についても、引き続き市民及び観光客の避難誘導をスムーズに行うためのサインの設置を計画的に進めていく。										
R4	O101 宇佐美地区で1件、営業を廃止するとともに津波避難協カビルの指定を解除してほしい旨の申し出があり棟数は減となった。津波避難困難地域の解消率については変わらず99.1%となっており、残りの0.9%については津波避難協カビルの指定では解消されない状況であるが、避難の選択肢を広げるために引き続き指定に向けた働きかけをしていく。										
	O102 市内の電柱に設置されている海拔表示看板を146か所交換し、68か所の撤去を実施した。今後についても、これまでに設置した海拔表示や避難方向誘導サインの状況を確認し更新していく。										
R5	O101 津波避難困難地域の解消率については変わらず99.1%となっており、残りの0.9%については津波避難協カビルの指定では解消されない状況であるが、避難の選択肢を広げるために引き続き指定に向けた働きかけをしていく。										
	O102 平成27年度、平成29年度に整備した津波避難誘導の路面表示116か所のうち、経年劣化に伴い損傷が著しい38か所を更新した。今後、必要に応じて改修していく。										
中間評価	O101 (達成状況)			D							
	(実績評価)	・目標値には届いていないが、津波災害警戒区域内において、本市の基準を満たすビルについては、ほぼ指定済みとなっている。									
	(今後の対応)	・津波災害警戒区域内にビルが新築された際には、津波避難協カビルの指定について依頼していく。									
評価	O102 (達成状況)			A							
	(実績評価)	・各年度において、計画的に事業を実施することができた。									
	(今後の対応)	・津波避難標識看板の設置箇所として適正な場所を調査し、設置基数の増加を図るとともに、これまでに設置した津波避難看板や路面標示の維持管理に努める。									

O2 防災意識及び知識の向上			達成状況	指標数	3	3	3	3	3			
				達成数	1	2	2	0	0			
				達成率	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%			
主要内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O201	美しい伊豆創造センターと連携した防災研修	美しい伊豆創造センターと連携した防災研修開催回数	R1	目標値	1	1	1	1	1	回	危機対策課	
			1回	実績値	0	3	2					
			評価	× 未達成	○ 達成	○ 達成						
O202	防災講演会の実施	防災講座の実施回数	R1	目標値	10	10	10	10	10	回	危機対策課	
			10回	実績値	11	18	14					
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成						
O203	防災訓練の実施	自主防災組織における地域で行われる防災訓練の実施率	R1	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課	
			82%	実績値	94.0	96.4	91.1					
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成						
年度評価	R3	O201 伊豆半島ジオパーク推進協議会と連携した取組の実施はなし。今後については、火山に関する防災講座等の開催が予定される際には必要な情報を提供していただくよう働きかけていく。										
		O202 令和3年度については、11回の防災講演会を開催した。今後についても防災意識の向上を目標に、引き続き小中学校や自治会、介護施設や民間企業等を対象とした講演会の要請に応えていく。										
		O203 158の自主防災組織が防災訓練を実施した。今後については、残りの10の自主防災会に訓練の開催を促し、全ての自主防災組織が防災訓練を実施することにより、実施率100%を目指していく。										
	R4	O201 美しい伊豆創造センターと連携した研修会等の開催はなかったが、3回にわたり開催された委員会に出席することで、情報の共有を図れたため出席数を実績値とし、目標達成とする。今後は、美しい伊豆創造センターが火山に関する防災講座等の開催を予定した際には、必要な情報を提供いただけるよう働きかけていく。										
		O202 令和4年度については、対面で講座を実施することへの市民の抵抗が軽減したため、目標値を大きく上回る実施回数となった。令和5年度については、引き続き目標値の達成を目指し、市民等からの開催要望に応えていく。										
		O203 168の自主防災会のうち162の自主防災会が防災訓練を実施した。実施率は前年度に比べ上昇したが、目標値の達成とはならなかった。引き続きすべての自主防災会が防災訓練を実施するよう呼びかけていく。										
	R5	O201 美しい伊豆創造センターと連携した研修会等の開催はなかったが、2回にわたり開催された委員会に出席することで、情報の共有を図れたため出席数を実績値とし、目標達成とする。今後は、美しい伊豆創造センターが火山に関する防災講座等の開催を予定した際には、必要な情報を提供していただけるよう働きかけていく。										
		O202 令和5年度についても、住民からの開催要望や自主防災会活動説明会等の場で防災講話を実施し、目標を達成することができた。引き続き市民等からの開催要望に応えていく。										
		O203 169の自主防災会のうち、154の自主防災会が総合防災訓練又は地域防災訓練の実施日に防災訓練を実施した。実施自治会数が昨年度よりも減少しているため、毎年開催する自主防災会活動説明会において訓練実施の呼びかけを行っていく。										
	中間評価	O201 (達成状況) B+										
		(実績評価)	・美しい伊豆創造センターと連携した研修会等の開催は実現できなかったが、情報共有を図ることはできた。									
		(今後の対応)	・美しい伊豆創造センターとの連携を深め、連携した事業の実施に向けた検討をしていく。									
		O202 (達成状況) A										
		(実績評価)	・多発する大規模災害等により、住民の防災意識が高揚していることもあり、目標を上回る実施回数となった。地域の特性や社会的に影響の大きかった災害などを題材とした講話を実施した。									
		(今後の対応)	・住民からの開催依頼に頼るのではなく、市からも積極的に講座の開催について情報発信をしていくことにより、開催回数の増加に努め、市民の防災意識の向上を図る。									
O203 (達成状況) D												
(実績評価)		・目標は達成していないが、住民の防災意識の高揚に伴い、基準値を大幅に上回る推移で訓練が実施されている。										
(今後の対応)		・訓練を実施していない自主防災会に対し、訓練の必要性について説明することなどによって実施率100%を目指す。										

O3 防災拠点施設の環境整備			達成状況	指標数	2	2	2	2	2			
				達成数	2	2	2	0	0			
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0301	避難生活用食糧及び防災資機材の備蓄	市の緊急物資（食料）の備蓄量（約10万食を維持）	R1 10万食	目標値	10万	10万	10万	10万	10万	食	危機対策課	
				実績値	10万	13万	10万					
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
0302	避難所の環境整備	避難所運営訓練の実施回数	R2 2回	目標値	1	1	1	1	1	回	危機対策課	
				実績値	1	1	2					
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
年度評価	R3	0301 食料の備蓄の目安としている10万食を確保している。今後についても10万食以上を維持するよう適正に管理していく。										
	R3	0302 支部職員活動説明会に合わせて避難所運営訓練を実施し、新型コロナウイルス感染症の影響により、対応に変更があった箇所について情報の共有を図った。今後についても同様の形で実施していく。										
	R4	0301 令和4年度末の備蓄数としては13万食となっているが、令和5年度当初に約2万食が期限切れとなる。常に食料備蓄の目安としている10万食を確保するよう計画的な購入を継続していく。										
	R4	0302 支部職員活動説明会に合わせて避難所運営訓練を実施した。今後については、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、5類へと移行されることに伴う運営方法の変更についての情報共有を図り、同様の形で実施していく。										
	R5	0301 令和5年度末の食料備蓄数は約10万6千食であり、目安としている10万食を確保できた。引き続き、計画的な購入を継続していく。										
R5	0302 総合防災訓練や支部職員活動説明会に合わせて避難所運営訓練を実施した。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、5類へと移行されることに伴う運営方法の変更について情報共有を図った。											
中間評価	0301（達成状況） A											
	（実績評価）	・目標を定め、計画的な管理を行ったことにより、目標備蓄数を維持することができた。										
	（今後の対応）	・引き続き目標備蓄数を確保できるよう、取り組んでいく。										
	0302（達成状況） A											
	（実績評価）	・いつ災害が発生するか分からない状況下において、避難所運営訓練は重要な位置づけであり、訓練の実施についても各職場の協力により、多くの支部職員が参加した。										
（今後の対応）	・訓練の回数を増やし、様々な想定での訓練実施を目指す。											

O4 地域防災力の強化			達成状況	指標数	1	1	1	1	1			
				達成数	0	0	1	0	0			
				達成率	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0401	自主防災組織への防災資機材の交付	自主防災組織の防災資機材充足率	R1 64%	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課	
				実績値	59.0	48.0	100					
				評価	× 未達成	× 未達成	○ 達成					
年度評価	R3	0401 102の自主防災組織から要望のあった1,778個の資機材のうち1,157個の資機材を交付した。今後については、有事に備えるために必要な各自主防災組織から要望される資機材を可能な限り交付できるよう努めていく。										
	R4	0401 防災資機材の交付については、自主防災組織の加入人数やその地域の居住人数等を参考に交付する資機材の数量等を決定している。資機材の充足率については、高い水準ではないが、地域に本当に必要な資機材を選定し交付することで自主防災組織の防災力向上に寄与するよう、今後も継続して交付していく。										
	R5	0401 令和5年度については、自主防災組織育成事業の財源である、静岡県地震・津波対策等減災交付金が、「わたしの避難計画ががんばる市町」の認定を受け、補助率が従来の1/3から2/3となったことより、事業の拡充を図ることができた。										
中間評価	0401（達成状況） B											
	（実績評価）	・令和3年度、4年度については元年度の基準値を下回っていたが、令和5年度については、がんばる市町の認定を受けたことにより、補助率が高上げされ事業を拡充することができた。										
	（今後の対応）	・がんばる市町の認定は令和7年度までとなっているため、継続して事業を拡充し、自主防災会への資機材交付事業を強力に推進していく。										

05 情報伝達体制の多重化			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	2	1	1	0	0		
				達成率	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0501 同報無線設備の整備	同報無線屋外拡声子局の充足率	R1	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課	
		100%	実績値	100	100	100					
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
0502 戸別受信機の整備	テレビブッシュサービスの普及(登録世帯数)	R1	目標値	250	290	330	370	400	世帯以上	危機対策課	
		144世帯	実績値	202	147	131					
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
0503 メールマガジンの登録推進	メールマガジン(防災情報)登録者数 ※1	R1	目標値	10,000	10,500	11,000	—	—	人以上	危機対策課	
		8,942人	実績値	10,301	10,075	9,845	—				
			評価	○ 達成	× 未達成	× 未達成	—	—			
0504 LINEの登録推進	LINE登録者数(防災情報)登録者数 ※1	R5	目標値	—	—	—	8,000	9,000	人以上	危機対策課	
		7,233人	実績値	—	—	—					
			評価	—	—	—					

R3	0501	設置が必要と考える同報無線の屋外拡声子局149基は設置済みのため、今後については適正な維持管理のための保守点検等を定期的に実施していく。
	0502	目標世帯数を大幅に下回る結果となった。テレビブッシュサービスについては、サービスの有効性を広く周知することが重要であるため、今後については、より多くの方に知っていただくようIKCとも連携してPRしていく。
	0503	メールマガジンの登録者数については目標値を超えているが、市が発信する情報を受け取るための最大の媒体であるため、より一層の登録者数増に取り組んでいく。
R4	0501	同報無線屋外拡声子局については、充足率100%を維持するよう、市民からの要望等があった際には迅速に検討し対応していく。
	0502	テレビブッシュサービスについては、昨年度より導入を進めている緊急告知ラジオの普及に伴い、情報を取得する手段が多様化し選択できるようになったため、他の方法を選択したことにより、登録者数が減少したものとされる。それぞれの方法での登録者数増のため、本サービスについても引き続き周知していく。
	0503	メールマガジンの登録者数については前年と比べ293人減少しているが、防災情報の取得手段としてLINEを選ぶ方が増えているため、LINE登録者は前年より人増加している。今後については、各媒体の登録者数の増減を注視する中で、より多くの人に情報を届けるための手段について、引き続き検討していく。
R5	0501	同報無線屋外拡声子局については、充足率100%を維持するよう、市民からの要望等があった際には迅速に対応していく。また、保守点検や住民からの通報による不具合が発覚した場合にも迅速に対応し、情報伝達に支障がないよう、維持管理にも努める。
	0502	テレビブッシュサービスについては、緊急告知ラジオの普及に伴い、情報を取得する手段が多様化し選択できるようになったことにより、情報収集手段を見直される方が増加し、テレビブッシュサービスの登録者数が減少したものと考えられる。災害情報の収集手段を充実させるため、本サービスについても引き続き周知していく。
	0503	メールマガジンの登録者数については前年と比べ230人減少しているが、防災情報の取得手段としてLINEを選ぶ方が増えているため、LINE登録者は前年より962人増加している。そのため、管理指標0503を見直し、新たに管理指標0504を設定した。引き続き、各媒体の登録者数の増減を注視する中で、より多くの人に情報を届けるための手段の検討を行っていく。

中間評価	0501 (達成状況) A	
	(実績評価)	・保守点検を行いつつ、同報無線屋外拡声子局の整備を行い、充足率100%という目標を達成した。
	(今後の対応)	・今後も充足率100%を維持するよう、市民からの要望等があった際には迅速に検討し対応していく。また、情報伝達に支障がないよう、保守点検等に対応しながら維持管理にも努める。
	0502 (達成状況) D	
	(実績評価)	・近年推進している緊急告知ラジオの普及率増加に伴い、テレビブッシュサービスの利用者が減少しているものと考えられ、情報収集手段の変化が起きているものと考えられる。
	(今後の対応)	・緊急告知ラジオの普及を図りつつ、災害情報の収集手段を充実させるため、本サービスについても引き続き周知していく。
0503 (達成状況) C		
(実績評価)	・防災情報の取得手段としてLINEを選ぶ方が増えていることから、メールマガジンの登録者数は減少傾向にある。	
(今後の対応)	・防災情報に係る情報発信手段として、メールマガジンの他、SNS等も活用しているところであるが、各媒体の登録者数の増減を注視する中で、より多くの人に情報を届けるための手段について、引き続き検討していく。	

※1 新たな情報収集ツールとして、LINE登録者数が増加しているため、管理指標0503を見直し、新たに管理指標0504を設定した。

06 帰宅困難者対策の整備			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	1	1	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0601 宿泊施設等との災害協定による協力体制の強化	災害時相互応援協定の有効性を高める協議回数	R1	目標値	1	1	1	1	1	回以上	危機対策課	
		1回	実績値	1	1	1					
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
R3	0601	災害時相互応援協定等の締結先については、常にお互いの情報が最新のものとなるよう、担当者等に変更が生じた際には情報を共有している。									
	R4	0601	災害時相互応援協定等については、宿泊施設に限らず、締結先の事業者と常にお互いの情報が最新のものとなるよう、担当者等に変更が生じた際には情報を共有している。								
	R5	0601	災害時相互応援協定等については、宿泊施設に限らず、締結先の事業者と常にお互いの情報が最新のものとなるよう、担当者等に変更が生じた際には情報を共有している。								
中間評価	0601 (達成状況) A										
	(実績評価)	・対面での協議開催の実績はないが、有事の際には迅速な対応が可能となるよう、担当者の変更連絡を通じて、双方において協定締結関係にあることが確認できている。									
	(今後の対応)	・発災時を想定した図上訓練を実施するなど、相互の連携や課題について確認する機会を設けていく。									

07 避難行動要支援者避難支援計画の充実			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	2	2	2	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0701 避難行動要支援者名簿の配付	民生委員児童委員への名簿の配付率	R2	目標値	100	100	100	100	100	%	社会福祉課	
		100%	実績値	100	100	100					
		評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成						
0702 要支援者の実情把握	避難行動要支援者名簿を活用した対象者の実情把握(率)	R2	目標値	100	100	100	100	100	%	社会福祉課	
		100%	実績値	100	100	100					
		評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成						
年度評価	R3	0701 各地区定例会に出席し、名簿に関する取扱方法等について説明を行ったのち、委員への配付を行った。									
	R3	0702 情報の更新作業を行うことで、名簿配付時には更新された情報を提供することができた。また、避難支援等関係者にとっては提供された情報をもとに実情把握に努めた。									
	R4	0701 民生委員児童委員に対し避難行動要支援者名簿を配付したことで、地域住民の実態把握や見守り活動に活用することができた。									
	R4	0702 名簿情報の更新を行い、避難支援体制の整備に向けて、対象者の情報収集に努めた。									
	R5	0701 民生委員児童委員に対し避難行動要支援者名簿を配付したことで、地域住民の実態把握や見守り活動に活用することができた。									
R5	0702 名簿情報の更新を行い、避難支援体制の整備に向けて、対象者の情報収集に努めた。										
中間評価	0701 (達成状況) A										
	(実績評価)	・名簿対象者の抽出や情報の更新及び避難支援等関係者への配付までの工程が確立されており、スムーズな対応ができています。									
	(今後の対応)	・避難行動要支援者にとって災害時に必要な情報や支援者にとって避難行動要支援者の必要とする情報について、本人や関係団体と協議し、活用しやすい名簿の作成を検討していく。									
	0702 (達成状況) A										
中間評価	(実績評価)	・名簿をもとに担当地域の状況を把握し対象者と顔合わせすることで、見守り活動に役立てている。									
	(今後の対応)	・民生委員の職務である見守り活動と絡めて、平常時から名簿対象者と関わり合いを持てるよう、引き続き避難支援体制の整備に向けて取り組んでいく。									

08 上下水道施設に係る災害・事故時に迅速に対応できる体制づくり			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	3	3	2	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0801 緊急時における資材・配管材の確保	備蓄資材の品目数	R2	目標値	237	237	237	237	237	品目以上	水道課	
		237品目	実績値	237	237	237					
		評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成						
0802 応援協力体制の確立	他事業体との協定の締結	R2	目標値	7	7	7	7	7	団体以上	水道課	
		7団体(維持)	実績値	7	7	7					
		評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成						
		R2	目標値	1	1	1	1	1	団体以上	下水道課	
		0団体(期間中1団体と締結)	実績値	1	1	0					
		評価	○ 達成	○ 達成	× 未達成						
年度評価	R3	0801 災害や突発的な漏水事故に備えるため、引き続き備蓄資材の確保に努め、緊急対応できる体制を整える。									
	R3	0802 大規模災害等に備え、他の事業団体との応援協力体制の確保について努めていく。【水道課】 静岡県環境施設メンテナンス協同組合と「災害時における緊急対策活動に関する協力協定」を締結した。【下水道課】									
	R4	0801 災害や突発的な漏水事故に備えるため、引き続き備蓄資材の確保に努め、緊急対応できる体制を整える。									
	R4	0802 大規模災害等に備え、他の事業団体との応援協力体制の確保について努めていく。【水道課】 R3に目標を達成したことから、今後は協定団体の数を増やして行きたい。【下水道課】									
	R5	0801 災害や突発的な漏水事故に備えるため、引き続き備蓄資材の確保に努め、緊急対応できる体制を整える。									
R5	0802 大規模災害等に備え、他の事業団体との応援協力体制の確保に努めていく。【水道課】 令和3年度に目標を達成したものの、令和5年度中に協定先である静岡県環境施設メンテナンス協同組合が解散したため未達成となった。今後は新たな協定先を選定し締結を目指す。【下水道課】										
中間評価	0801 (達成状況) A										
	(実績評価)	・常備備蓄資材は常に必要数を確保できるよう、日頃より適切な管理を行い、目標値を維持達成できている。									
	(今後の対応)	・引き続き適切な管理を行うとともに、一部資機材においては最新資機材への買換えの検討等を行う。									
	0802 (達成状況) C										
中間評価	(実績評価)	・応援協力体制について、良好に維持することができている。【水道課】 ・令和3年度に目標を達成したものの、令和5年度中に協定先である静岡県環境施設メンテナンス協同組合が解散したため未達成となった。【下水道課】									
	(今後の対応)	・他の事業団体との応援協力体制について、実施訓練を検討していく。【水道課】 ・今後は新たな協定先を選定し締結を目指す。【下水道課】									

09 感染症対策の推進		達成状況	指標数	4	4	4	4	4		
			達成数	1	1	2	0	0		
			達成率	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0901 感染症に関する正しい知識の普及	講習会開催数	R1	目標値	10	10	10	10	10	回	健康推進課
		4回	実績値	5	5	5		以上		
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
0902 感染症を予防する生活習慣づくり	肺がん・肺結核検診受診率	H30	目標値	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	%	健康推進課
		11.4%	実績値	31.9	R7.2公表	R8.2公表		以上		
			評価	× 未達成						
0903 災害時の感染症予防について関係医療機関との連携強化	災害時医療救護等対策連絡会の実施回数	R1	目標値	2	2	2	2	2	回	健康推進課
		2回	実績値	0	1	2		以上		
			評価	× 未達成	× 未達成	○ 達成				
0904 感染症対策を踏まえた避難所運営マニュアルの整備	避難所運営マニュアルの見直し回数	R1	目標値	1	1	1	1	1	回	危機対策課
		1回	実績値	1	1	1		以上		
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
R3	0901 保健委員の全員研修会で実施。後半の研修が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になり10回実施予定が5回になった。									
	0902 推計対象者数8,585人に対し、受診者は2,741人であった。令和2年度はコロナ禍で受診者が減ったものの、令和3年度は微増となった。今後、感染対策を強化しながら更なる受診勧奨を図っていく。									
	0903 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止									
	0904 4月に実施する避難所運営訓練に合わせ、前年度の運用結果等を考慮し最新の情報に改訂している。									
R4	0901 保健委員の研修会で感染予防の研修を実施。特に手洗いの重要性をPRするために手洗いチェッカーを用いて、保健委員が自ら「正しい手洗い方法」についての研修を行ったが未達成であった。今後、福祉施設等から講習会開催の依頼があった際には、健康の社会的決定要因に考慮しながら開催方法を検討していく。									
	0902 令和7年2月公表									
	0903 新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大に伴い、令和3年度と同様に中止した。今後、新型コロナウイルスによる制限が緩和された中で、健康の社会的決定要因を考慮しながら開催出来るように方法を検討し、引き続き関係医療機関との連携強化に努める。									
	0904 4月に実施する避難所運営訓練に合わせ、前年度の運用結果等を考慮し最新の情報に改訂している。									
R5	0901 目標値には届かなかったが、保健委員対象に感染症に関する支部研修を5回実施したほか、担当保健師からは日常的に事業を実施する中で感染症対策に関する周知啓発活動を行った。									
	0902 令和8年2月公表									
	0903 年2回開催し、目標に達した。今後は、連絡会を通じ感染症予防に鑑みた訓練内容の検討や資機材の購入について関係医療機関と連携を図っていく。									
	0904 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられたことにより、避難所運営マニュアルを改訂した。									
中間評価	0901 (達成状況) D									
	(実績評価)	・コロナ禍であり研修会の実施は制限されたが、知識の普及は進んだと思われる。								
	(今後の対応)	・引き続き感染症対策に関する情報を発信し、普及に取り組んでいく。								
	0902 (達成状況) —									
	(実績評価)	・令和8年2月公表								
	(今後の対応)	・								
	0903 (達成状況) B									
	(実績評価)	・新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため中止としたが、令和5年度は年2回開催し、目標を達成している。								
(今後の対応)	・年2回の開催を継続し、感染症予防に鑑みた訓練内容の検討や資機材の購入について関係医療機関と連携を図っていく。									
0904 (達成状況) A										
(実績評価)	・令和2年度～3年度にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響により、風水害時に優先的に開設する避難所を従来のコミュニティセンターから小学校体育館に変更し、災害時における避難所の感染症対策に努めた。なお、令和5年度には第5類に引き下げられたため、従前の対応に戻した。									
(今後の対応)	・新型コロナウイルス感染症が第5類に引下げられたことで避難所運営マニュアルを再度改定したが、今回の感染症対策で得られた知識や経験を今後の避難所運営に役立てて行く。									

担当課	建設課・危機対策課・産業課	施策1-2の全指標達成率					
政策目標 1	安全で安心して暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 2	総合治水対策の強化	指標数	15	15	15	15	15
目指す姿	市域で水害や土砂災害が発生しない	達成数	12	13	13	0	0
		達成率	80.0%	86.7%	86.7%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)		指標数	2	2	2	2	2			
		達成数	1	1	1	0	0			
		達成率	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%			
成果指標 1	河川が溢れる件数	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		R1	目標値	0	0	0	0	件	建設課	
		0件	実績値	0	0	0				
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
目標値の考え方	雨天時における河川の流下能力・危険箇所の把握、時間雨量50mmに対応できる河川及び水路の計画的な整備、河川等の補修に関する市民要望を迅速かつ的確に対応して被害を無くす。									
成果指標 2	急傾斜地崩壊危険区域指定の総指定箇所数	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		R1	目標値	35	36	37	38	39	か所	建設課
		34か所	実績値	34	34	34				
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
目標値の考え方	急傾斜地崩壊危険区域指定の促進、事業における地域住民との調整を行い県へ要望する箇所数を1箇所以上とする。									
R3年度	1 (実績評価) ・ 随時、危険箇所の修繕、溢水箇所の改修を行い、また、大雨時におけるパトロールを実施したことにより、河川及び水路の溢水による被害を防止した。 (次年度修正点) ・ 大雨時のパトロールを強化し、危険箇所の把握を行い、日常的な維持管理に努める。									
	2 (実績評価) ・ 要望箇所における地元調整を行ったが、受益者の同意が得られず、指定に至らなかった。 (次年度修正点) ・ 地元説明会を適宜行い、全ての受益者等の理解を得て、区域の指定促進に努める。									
R4年度	1 (実績評価) ・ 適宜、危険箇所の修繕、溢水箇所の改修を行い、気象情報を注視しパトロールを実施したことにより、河川及び水路の溢水による被害を防止した。 (次年度修正点) ・ 定期パトロールを強化するとともに、危険箇所の把握を行い、日常的な維持管理に努める。									
	2 (実績評価) ・ 要望箇所(見晴町)において、静岡県急傾斜地崩壊対策事業費補助金(指定促進)の要求を行った。 (次年度修正点) ・ 地元説明会を適宜行い、受益者等の理解を得て、区域指定を促進する。									
R5年度	1 (実績評価) ・ 危険箇所の修繕や溢水箇所の改修を適宜行うとともに、気象情報を注視しパトロールを実施したことにより、河川及び水路の溢水による被害を防止した。 (次年度修正点) ・ 定期パトロールを強化し、危険箇所の把握を行い、日常的な維持管理に努める。									
	2 (実績評価) ・ 要望箇所(見晴町)において、静岡県急傾斜地崩壊対策事業費補助金(指定促進)の要求を行った。 (次年度修正点) ・ 地元説明会を適宜行い、受益者等の理解を得て、区域指定を促進する。									
中間評価	1 (達成状況)	A								
	(実績評価)	・ 豪雨時におけるパトロールにより、危険箇所の修繕等を行い、河川及び水路の溢水による被害を防止した。								
	(今後の対応)	・ 今後も河川等のパトロールを実施し、事前に危険箇所の把握を行い、迅速な対応を図る。								
	2 (達成状況)	D								
(実績評価)	・ 砂防及び急傾斜地崩壊危険区域の指定については、現状、指定条件に合致する案件が少ないため、目標値に至っていない。									
(今後の対応)	・ 引き続き、砂防事業及び急傾斜地事業について住民への周知を図り、各事業の促進に努める。									

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）			指標数	13	13	13	13	13	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
			達成数	11	12	12	0	0		
			達成率	84.6%	92.3%	92.3%	0.0%	0.0%		
O1 河川及び水路の整備促進及び維持管理	達成状況	指標数	5	5	5	5	5			
		達成数	5	5	5	0	0			
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
	O101 雨天時における河川の流水能力・危険箇所等の把握	大雨後のパトロールの実施率	R1 100%	目標値 100	100	100	100	100	%	建設課
	O102 時間雨量50mmに対応できる河川及び水路の計画的な整備	整備河川数（累計）	R1 1河川	目標値 1	2	3	4	5	河川 以上	建設課
O103 河川等の補修に関する市民要望への迅速かつ的確な対応	修繕等の処理率（地域応急処理事業）	R1 100%	目標値 100	100	100	100	100	%	建設課	
O104 事業における地域住民との調整	県事業における地元住民の調整件数	R1 0件	目標値 1	1	1	1	1	件 以上	建設課	
O105 国県への要望活動の推進	県事業の実施回数	R1 1回	目標値 1	1	1	1	1	回 以上	建設課	
年度評価	R3	O101 大雨時におけるパトロールの実施により、危険箇所等の把握を行い、日常点検・維持管理に努めることができた。								
		O102 普通河川ゆがわ及び鎌田地内水路の改良事業については、継続して実施している。鎌田久保方地内水路の改良事業については、単年度で整備を完了した。								
		O103 要望等に対し、現場確認及び業者依頼を早急に行い、適切な維持管理に努めることができた。								
		O104 二級河川の維持事業として、北川の除草及び宇佐美三河川のあし・樹木伐採についての調整を行った。								
		O105 二級河川伊東大川（根固めブロック・伐採）及び二級河川烏川（根継）の整備を行った。								
	R4	O101 大雨時におけるパトロールの実施により、危険箇所等の把握を行い、日常点検・維持管理に努めることができた。								
		O102 普通河川ゆがわ及び鎌田地内水路の改良事業については、継続して実施している。吉田地内水路の改良事業については、単年度で整備を完了した。								
		O103 市民要望に対し、現場確認及び業者依頼を早急に行い、適切な維持管理に努めることができた。								
		O104 主要地方道伊東修善寺線を横断している床板工事や浚渫工事について調整を行った。								
		O105 二級河川烏川（根継）の整備を行った。								
	R5	O101 大雨時におけるパトロールの実施により、危険箇所等を把握し、日常点検・維持管理に努めることができた。								
		O102 普通河川ゆがわ、準用河川刈島川、鎌田地内水路の改良事業については、継続して実施している。宮川町二丁目地内水路の改良事業については、単年度で整備を完了した。								
		O103 市民要望に対し、現場確認及び業者依頼を早急に行い、適切な維持管理に努めることができた。								
		O104 国道135号（富戸地区）の市道との取り合い部において地権者との調整を行った。								
		O105 二級河川大川（根固めブロック・伐採）の整備を行った。								
中間評価	O101（達成状況） A									
	（実績評価）	・大雨時におけるパトロールの実施により、危険箇所等を把握し、日常点検・維持管理に努めることができた。								
	（今後の対応）	・引き続き、河川等のパトロールを実施し、事前に危険箇所の把握を行い、迅速な対応を図る。								
	O102（達成状況） A									
	（実績評価）	・普通河川ゆがわ、準用河川刈島川、鎌田地内水路の改良事業については、継続して実施している。								
	（今後の対応）	・今後も大雨時に対応できる河川及び水路の計画的な整備に努める。								
	O103（達成状況） A									
	（実績評価）	・市民要望に対し、現場確認及び業者依頼を早急に行い、適切な維持管理に努めることができた。								
	（今後の対応）	・今後も市民要望に対し、迅速かつ適切な対応に努める。								
	O104（達成状況） A									
（実績評価）	・二級河川の維持事業として、北川の除草及び宇佐美三河川のあし・樹木伐採についての調整を行った。主要地方道伊東修善寺線を横断している床板工事や浚渫工事についての調整を行った。									
（今後の対応）	・引き続き、県事業における地域住民との調整に努める。									
O105（達成状況） A										
（実績評価）	・二級河川伊東大川（根固めブロック・伐採）及び二級河川烏川（根継）の整備を行った。									
（今後の対応）	・引き続き、国県へ要望を継続していく。									

O2 砂防及び急傾斜地崩壊防止事業の促進			達成状況	指標数	3	3	3	3	3				
			達成数	2	2	2	0	0					
			達成率	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%					
主要内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
O201	急傾斜地崩壊危険区域指定の促進	年間指定箇所数 * 指定箇所は事業化決定	R1 Oか所	目標値	1	1	1	1	1	か所	建設課		
				実績値	0	0	0						
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成						
O202	事業における地域住民との調整	県事業における地元住民の調整件数	R1 0件	目標値	1	1	1	1	1	件	建設課		
				実績値	1	1	1						
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成						
O203	国県への要望活動の推進	県事業の実施回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回	建設課		
				実績値	2	1	1						
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成						
年度評価	R3	O201 要望箇所における地元調整を行ったが、受益者の同意が得られず、指定に至らなかった。											
		O202 要望箇所における地元調整を行った。											
		O203 砂防事業として萩沢砂防事業が完了した。急傾斜地崩壊防止事業として、水落急傾斜地崩壊対策事業が継続中である。											
	R4	O201 要望箇所（見晴町）において、静岡県急傾斜地崩壊対策事業費補助金（指定促進）の要求を行った。今後も砂防事業及び急傾斜事業について、広報及び周知等を行い、各事業の促進に努める。											
		O202 砂防堰堤の浚渫事業にて、地元調整を行った。											
		O203 急傾斜地崩壊防止事業として、水落急傾斜地崩壊対策事業が継続実施中である。											
	R5	O201 要望箇所（見晴町）において、静岡県急傾斜地崩壊対策事業費補助金（指定促進）の要求を行ったが、事業化決定には至らなかった。											
		O202 砂防堰堤の浚渫事業にて、地元調整を行った。											
		O203 急傾斜地崩壊防止事業として、水落急傾斜地崩壊対策事業が完了した。											
中間評価		O201（達成状況） D											
		(実績評価)	・要望箇所（見晴町）において、静岡県急傾斜地崩壊対策事業費補助金（指定促進）の要求を行った。										
		(今後の対応)	・今後も砂防事業及び急傾斜事業について、効果的な広報及び周知等を行い各事業の促進に努める。										
		O202（達成状況） A											
		(実績評価)	・砂防堰堤の浚渫事業にて、地元調整を行った。										
		(今後の対応)	・引き続き、砂防堰堤の浚渫事業にて地元調整を行っていく。										
		O203（達成状況） A											
		(実績評価)	・急傾斜地崩壊防止事業として、水落急傾斜地崩壊対策事業が完了した。										
		(今後の対応)	・引き続き、砂防及び急傾斜地崩壊対策事業の推進について要望を継続していく。										

O3 風水害時危険箇所の周知			達成状況	指標数	1	1	1	1	1				
			達成数	1	1	1	0	0					
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%					
主要内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課			
O301	新たに土砂災害警戒区域に指定された地域住民へのハザードマップの作成及び配布並びに活用	新たに土砂災害警戒区域に指定された地域住民へのハザードマップの配布率	R1 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課		
				実績値	100	100	100						
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成						
年度評価	R3	O301 土砂災害警戒区域の指定については令和元年度末で一旦完了し、ハザードマップが掲載された防災総合ガイドブックを令和2年度に作成し全戸配布を行った。それ以降新規の指定はなし。											
	R4	O301 土砂災害警戒区域の指定については令和元年度末で一旦完了し、ハザードマップが掲載された防災総合ガイドブックを令和2年度に作成し全戸配布を行った。それ以降新規の指定はなし。											
	R5	O301 土砂災害警戒区域の指定については令和元年度末で一旦完了し、ハザードマップが掲載された防災総合ガイドブックを令和2年度に作成し全戸配布を行った。それ以降新規の指定はなし。											
中間評価		O301（達成状況） A											
		(実績評価)	・総合防災ガイドブックを全戸配布したことで、災害発生の危険箇所だけではなく、避難場所や平時からの備えの大切さなど、防災全般に関する周知を図ることができた。										
		(今後の対応)	・土砂災害だけでなく、各種災害の警戒区域が新たに指定された際には、更新のタイミングで総合防災ガイドブックに反映させていく。										

04 風水害を想定した訓練の実施			達成状況	指標数	1	1	1	1	1			
				達成数	0	1	1	0	0			
				達成率	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0401	水防・土砂災害訓練の実施	水防・土砂災害訓練の実施率	R1	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課	
			100%	実績値	0	100	100					
				評価	× 未達成	○ 達成	○ 達成					
年度評価	R3	0401 新型コロナウイルス感染症の影響により訓練を中止した。										
	R4	0401 十足区をメイン会場として土砂災害・水防訓練を実施した。令和5年度以降も土砂災害警戒区域のある行政区をメイン会場に選定し訓練を実施することで、住民の防災意識向上に努めていく。(令和5年度は宇佐美区を予定)										
	R5	0401 宇佐美区をメイン会場として土砂災害・水防訓練を実施した。令和6年度以降も土砂災害警戒区域のある行政区をメイン会場に選定し訓練を実施することで、住民の防災意識向上に努めていく。(令和6年度は対島地区を予定)										
中間評価	0401 (達成状況) B											
	(実績評価)	・訓練に参加することにより、避難所までの経路や危険箇所の把握及び災害時の対応などについての情報を共有することに伴い、地域防災力の強化を図ることができた。										
	(今後の対応)	・近年、全国的に風水害による被害が増加傾向にあることから、本市においても引き続き訓練を実施し、地域防災力の強化を図る。										

05 山林の機能保全の促進			達成状況	指標数	3	3	3	3	3			
				達成数	3	3	3	0	0			
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0501	危険箇所の把握	山林パトロール	R1	目標値	1	1	1	1	1	回	産業課	
			年1回	実績値	1	1	1					
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
0502	事業における地元住民との調整	静岡県事業における地元住民との調整件数	R1	目標値	1	1	1	1	1	件	産業課	
			年1件	実績値	1	1	1					
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
0503	国県への働きかけ	静岡県への要望件数	R1	目標値	1	1	1	1	1	件	産業課	
			年1件	実績値	2	1	1					
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
年度評価	R3	0501 市内の山林パトロールを実施し、崩落危険箇所の把握に努めた。										
		0502 治山事業要望箇所について、地元住民と現地調査等を行った。										
		0503 静岡県に治山事業の要望を行った。										
年度評価	R4	0501 市内の山林パトロールを実施し、崩落危険箇所の把握に努めた。										
		0502 治山事業要望箇所について、地元住民と現地調査等を行った。										
		0503 静岡県に治山事業の要望を行った。										
年度評価	R5	0501 市内の山林パトロールを実施し、崩落危険箇所の把握に努めた。										
		0502 治山事業要望箇所について、地元住民と現地調査等を行った。										
		0503 静岡県に治山事業の要望を行った。										
中間評価	0501 (達成状況) A											
	(実績評価)	・近年、局地的な集中豪雨が多発しているため、山林パトロールの強化を図り、危険箇所の把握に努めることができた。										
	(今後の対応)	・今後とも、山林パトロールを実施し、事前に危険箇所の把握を行い素早い対応を図る。										
中間評価	0502 (達成状況) A											
	(実績評価)	・治山事業要望箇所について、地元住民と現地調査を行い、現地の状況、危険度等の調査を行うことができた。										
	(今後の対応)	・今後とも、地元住民と現地調査を実施し、治山事業要望箇所の把握に努める。										
中間評価	0503 (達成状況) A											
	(実績評価)	・令和3年度から5年度にかけて、静岡県に治山事業の要望を行った。										
	(今後の対応)	・治山事業の要望箇所の把握に努め、静岡県に要望を行う。										

担当課	危機対策課・水道課・下水道課・建設課・建築住宅課・産業課	施策1-3の全指標達成率					
政策目標	1 安全で安心して暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	3 災害に強い建築物や公共施設の整備	指標数	14	14	14	14	14
目指す姿	建築物の耐震性等の安全性が確保されている	達成数	6	7	9	0	0
		達成率	42.9%	50.0%	64.3%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)		指標数	3	3	3	3	3		
		達成数	2	2	2	0	0		
		達成率	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%		
成果指標 1	市有建築物の耐震化率	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	100	100	100	100	100	%
			実績値	95.2	95.2	95.1			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
目標値の考え方		「伊東市が所有する公共建築物の耐震化計画」に基づき、計画的な耐震化を進め、地震災害時における建物の倒壊等による人的被害を防ぐため、市有建築物の耐震化率を100%に設定した。							
成果指標 2	港湾施設の整備要望の実施箇所数 (累計)	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R2	目標値	2	4	6	8	10	か所
			実績値	4	5	6			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成		以上	
目標値の考え方		白石防波堤延伸事業を含めた伊東港における、港湾整備を港湾施設管理者（静岡県）に要望した実施箇所数を年間2箇所以上とする。							
成果指標 3	民間住宅の耐震化率	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	83.5	84	84.5	85	86	%
			実績値	83.9	84.3	84.6			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成		以上	
目標値の考え方		平成25年から平成30年までの耐震化率を算出した結果、各年約0.5%の上昇が確認できたことから、引き続き年0.5%以上の耐震化率の向上を目標とし86%と目標値を設定した。							
R3年度	1 (実績評価)	数値の減少については、市営新山住宅2棟を用途廃止したことにより耐震化率を計算する際に生じた微差であり、現状に変化はない。 (次年度修正) ・引き続き市有建築物の耐震化率100%を目標として計画を推進していく。							
	2 (実績評価)	白石防波堤延伸、浮桟橋改良、小浦防波堤改良、第一防波堤改良（測量・設計）事業を行った。 (次年度修正) ・引き続き、伊東港整備事業の推進について要望を継続していきたい。							
	3 (実績評価)	耐震化率の実績値は、昭和56年以前の木造住宅の補強工事に加えて解体工事が増加したことで目標値を上回った。 (次年度修正) ・耐震補強の必要性や補助金の活用に対する啓発を継続して進めていくことで、民間住宅の耐震化率の向上を図る。							
R4年度	1 (実績評価)	令和4年度については市有建築物の状況に変化はなく前年度と同じ数値となっている。 (次年度修正) ・引き続き市有建築物の耐震化率100%を目標として計画を推進していく。							
	2 (実績評価)	白石防波堤延伸、浮桟橋改修、第一防波堤改良、小浦防波堤改良、湯川東離岸堤改良を行った。 (次年度修正) ・引き続き、伊東港整備事業の推進について要望を継続していきたい。							
	3 (実績評価)	耐震化率の実績値は、昭和56年以前の木造住宅の補強工事に加えて解体工事が増加したことで目標値を上回った。 (次年度修正) ・耐震補強の必要性や補助金の活用に対する啓発を継続して進めていくことで、民間住宅の耐震化率の向上を図る。							
R5年度	1 (実績評価)	数値の減少については、スカイポート亀石の解体完了により、耐震化率を計算する際に生じた微差であり、現状に変化はないものである。 (次年度修正) ・引き続き、市有建築物の耐震化100%を目標として関係各課と連携、情報共有を行っていく。							
	2 (実績評価)	浮桟橋改修、第一防波堤改良、宮町船揚場改修を行った。 (次年度修正) ・引き続き、伊東港整備事業の推進について要望を継続していく。							
	3 (実績評価)	昭和56年以前の木造住宅の補強工事に加えて、除却工事も増加している傾向にあり、目標値を上回ることができた。 (次年度修正) ・耐震補強の必要性や補助金の活用に対する啓発を継続し、戸別訪問を積極的に進めていくことで、民間住宅の耐震化率の向上を図る。							
中間評価	1 (達成状況)	B-							
	(実績評価)	耐震化に係る対応の判断は所管課によるものであるが、耐震化対応のための事業費が大きく、進捗が進んでいない状況である。							
	(今後の対応)	地震災害時における建物の倒壊等による人的被害を防ぐため、関係各課と連携・情報共有を行う。							
2 (達成状況)	B								
	(実績評価)	白石防波堤延伸、浮桟橋改修、第一防波堤改良、小浦防波堤改良、湯川東離岸堤改良、宮町船揚場改修を行った。							
	(今後の対応)	引き続き、伊東港整備事業の推進について要望を継続していきたい。							
3 (達成状況)	B+								
	(実績評価)	昭和56年以前の木造住宅について、耐震補強工事の補助金に加え、令和4年度から除却工事についても補助金メニューを増設したことで、目標値を上回ることができた。							
	(今後の対応)	新型コロナウイルス感染症の影響もなくなったことから、戸別訪問を積極的に計画し、所有者への周知を促し、令和7年度までに目標値に達するよう今まで以上に補助金事業の啓発を図る。							

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）			指標数	11	11	11	11	11	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
			達成数	4	5	7	0	0		
			達成率	36.4%	45.5%	63.6%	0.0%	0.0%		
O1	旧耐震基準市有建築物の耐震化計画の充実・耐震化整備推進		達成状況	指標数	3	3	3	3	3	
				達成数	0	0	0	0	0	
				達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
			基準値	R3	R4	R5	R6	R7		
O101	旧耐震基準の市有建築物耐震化の具体的な進め方の検討・決定	未耐震化市有建築物（12棟）の耐震化実施方法の決定率	R1	目標値	20.0	30.0	40.0	50.0	60.0	% 危機対策課
			0%	実績値	0	0	0			
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
O102	耐震診断の実施	市有建築物の耐震診断の実施率（未診断 26棟）	R1	目標値	100	100	100	100	100	% 危機対策課
			86%	実績値	86.0	86.0	86.0			
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
O103	継続活用する旧耐震基準市有建築物の耐震補強及び建て替えの実施	旧耐震基準市有建築物の耐震補強及び建て替え等の実施率（12棟）	R1	目標値	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0	% 危機対策課
			0%	実績値	0	0	0			
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
年度評価	R3	O101 市有物件の耐震化診断及び補強、建替え等の実施については、建物の所管課の判断となっている。耐震診断及び補強、建替え等の事業予算の3分の1が補助される県の「地震津波対策等減災交付金」の活用を各課に案内しているが、事業費が大きく、策定した「伊東市が所有する公共建築物の耐震化計画」のとおりには進捗していない状況である。今後についても、引き続き交付金の活用を各課へ促し、各指標の目標値の達成を目指していく。								
		O102 市有物件の耐震化診断及び補強、建て替え等の実施については、建物の所管課の判断となっている。耐震診断及び補強、建て替え等の事業予算の3分の1が補助される県の「地震・津波対策等減災交付金」の活用を各課に案内しているが、事業費が大きく、策定した「伊東市が所有する公共建築物の耐震化計画」のとおりには進捗していない状況である。今後についても、引き続き交付金の活用を各課へ促し、各指標の目標値の達成を目指していく。								
		O103 市有物件の耐震化診断及び補強、建て替え等の実施については、建物の所管課の判断となっている。耐震診断及び補強、建て替え等の事業予算の3分の1が補助される県の「地震・津波対策等減災交付金」の活用を各課に案内しているが、事業費が大きく、進捗が進んでいない状況である。今後についても、引き続き交付金の案内を関係各課に行うとともに各課とも情報共有を行う。各指標の目標値の達成を目指していく。								
中間評価	O101（達成状況） D									
	（実績評価）		・耐震化に係る対応の判断は所管課によるものであるが、耐震化対応のための事業費が大きく、進捗が進んでいない状況である。							
	（今後の対応）		・地震災害時における建物の倒壊等による人的被害を防ぐため、関係各課と連携・情報共有を行うことにより、目標の達成を図る。							
	O102（達成状況） D									
	（実績評価）		・耐震化に係る対応の判断は所管課によるものであるが、耐震化対応のための事業費が大きく、進捗が進んでいない状況である。							
	（今後の対応）		・地震災害時における建物の倒壊等による人的被害を防ぐため、関係各課と連携・情報共有を行う。							
O103（達成状況） D										
（実績評価）		・耐震化に係る対応の判断は所管課によるものであるが、耐震化対応のための事業費が大きく、進捗が進んでいない状況である。								
（今後の対応）		・地震災害時における建物の倒壊等による人的被害を防ぐため、関係各課と連携・情報共有を行う。								

O2 緊急避難路や輸送路の確保のための港湾整備の推進			達成状況	指標数	3	3	3	3	3	単位	担当課	
				3	2	2	0	0				
			達成率	100.0%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%				
主な内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7				
年度評価	R3	O201 白石防波堤延伸事業	年度別進捗率	R1	目標値	50.0	62.5	75.0	87.5	100	% 以上	建設課
				40%	実績値	50.0	50.0	50.0				
				評価	○ 達成	× 未達成	× 未達成					
年度評価	R4	O202 港湾施設改修事業	改修箇所数	R1	目標値	2	2	2	2	2	箇所 以上	建設課
				2箇所	実績値	2	4	3				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
年度評価	R5	O203 港湾整備のための国・県への働きかけ	要望等回数	R1	目標値	1	1	1	1	1	回 以上	建設課
				1回	実績値	1	1	1				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
中間評価	R3	O201 全体計画L=66m（ケーソンN=4函）のうち、L=33m（ケーソンN=2函）が完了した。										
		O202 小浦防波堤（川奈地区）改良及び第一防波堤（新井地区）測量・設計を行った。										
		O203 伊東港湾整備事業の推進として、白石防波堤延伸事業の早期完成及び観光浮桟橋等の高波対策の強化についての要望を行った。										
		O201 全体計画L=66m（ケーソンN=4函）のうち、L=33m（ケーソンN=2函）が完了した（繰越事業）。今後も早期完成に向け要望を行っていく。										
		O202 浮桟橋改修、第一防波堤改良、小浦防波堤改良、湯川東離岸堤改良を行った。										
		O203 伊東港湾整備事業の推進として、白石防波堤延伸事業の早期完成、観光浮桟橋及び港湾施設の高波対策の強化についての要望を行った。										
		O201 全体計画L=66m（ケーソンN=4函）のうち、L=33m（ケーソンN=2函）が完了したが、今後も早期完成に向け要望を行っていく。										
		O202 浮桟橋改修、第一防波堤改良、宮町船揚場改修を行った。										
		O203 伊東港湾整備事業の推進として、白石防波堤延伸事業の早期完成、観光浮桟橋及び港湾施設の高波対策の強化についての要望を行った。										
		O201（達成状況） C										
		(実績評価)		・全体計画L=66m（ケーソンN=4函）のうち、L=33m（ケーソンN=2函）が完了した。								
		(今後の対応)		・今後も早期完成に向け要望を行っていく。								
O202（達成状況） A												
(実績評価)		・白石防波堤延伸、浮桟橋改修、第一防波堤改良、小浦防波堤改良、湯川東離岸堤改良、宮町船揚場改修を行った。										
(今後の対応)		・引き続き、伊東港整備事業の推進について要望を継続していく。										
O203（達成状況） A												
(実績評価)		・伊東港湾整備事業の推進として、白石防波堤延伸事業の早期完成、観光浮桟橋及び港湾施設の高波対策の強化についての要望を行った。										
(今後の対応)		・引き続き、伊東港整備事業の推進について要望を継続していく。										

O3 漁港機能維持のための整備推進			達成状況	指標数	1	1	1	1	1	単位	担当課	
				0	0	1	0	0				
			達成率	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%				
主な内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7				
年度評価	R3	O301 機能保全計画に基づく施設維持管理の実施	老朽化施設の整備件数	R2	目標値	-	-	-	-	1	件 以上	産業課
				1件	実績値	0	0	1				
				評価	-	-	○ 達成					
年度評価	R4	O301 漁港施設の整備については、予算の確保等が厳しいため、実施に至らなかったが、補助金の活用などを視野に入れながら、計画的な維持管理に努めていく。										
		O301 漁港施設の整備については、予算の確保等が厳しいため、実施に至らなかったが、補助金の活用などを視野に入れながら、計画的な維持管理に努めていく。										
		O301 令和5年度については、漁港機能増進事業補助金を活用して、八幡野漁港湾内道路の橋りょう改良工事を行うことができたことから、目標を達成することができた。今後も、計画的な維持管理に努めていく。										
中間評価	R5	O301（達成状況） A										
		(実績評価)		・例年、予算の確保等が難しく、漁港施設の整備を実現できなかったが、令和5年度において漁港機能増進事業補助金を活用して、八幡野漁港湾内道路橋りょうを改良することができた。								
		(今後の対応)		・今後も機能保全計画に基づく施設の維持管理に努めていく。								

O4 上下水道管路更新（耐震化）事業の推進			達成状況	指標数	2	2	2	2	2	単位	担当課
			達成数	1	1	2	0	0			
			達成率	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7			
O401	効率的な管路の更新事業の実施	更新距離数	R2	目標値	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	km/年	水道課
			1.0km/年	実績値	0.7	1.3	3.3				
				評価	× 未達成	× 未達成	○ 達成				
			R2	目標値	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	km/年	下水道課
0.20km/年	実績値	0.42	0.42	0.45							
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
年度評価	R3	O401	水道管材等に使用されている塗料に承認不正が発覚し、全国的に水道資材が一時出荷見合わせとなり、発注済工事の年度内完成が困難となった。【水道課】 伊東市下水道ストックマネジメント計画に基づき管きよの耐震性も備えた改築工事を行っており、また、当該計画外でも調査等で緊急度が高い管きよは随時改築を行っていることから、令和3年度においては目標値よりも実績値が上回る結果となった。【下水道課】								
	R4	O401	施工箇所において、既設埋設管（下水道・ガス・温泉）が混在しており、配水管埋設スペースが限られたことにより工事進捗に遅れが生じ、年度内完成が困難となった。令和5年度は上記問題の影響が少ない施工箇所であるため、実績値は増となる見込みである。【水道課】 伊東市下水道ストックマネジメント計画に基づき管きよの耐震性も備えた改築工事を行っており、また、当該計画外でも調査等で緊急度が高い管きよは随時改築を行っていることから、令和4年度においては目標値よりも実績値が上回る結果となった。【下水道課】								
	R5	O401	前年度までは、既設埋設管等の影響により年度内完成が困難となり、繰越工事が起因して目標値に至らなかったが、令和5年度は繰越工事が無く計画どおり工事完了したことや、繰越工事分の延長が加算され実績値が目標値を大きく上回った。【水道課】 伊東市下水道ストックマネジメント計画に基づき管きよの耐震性も備えた改築工事を行っており、また、当該計画外でも調査等で判明した緊急度が高い管きよは随時改築を行っていることから、令和5年度においては目標値よりも実績値が上回る結果となった。【下水道課】								
中間評価	O401（達成状況）			B+							
	（実績評価）	過去3年の実績値を平均すると目標延長を上回っているため、効率的な管路の更新が図れていると評価できる。【水道課】 伊東市下水道ストックマネジメント計画に基づき管きよの耐震性も備えた改築工事を実施するとともに、当該計画外でも調査等で判明した緊急度が高い管きよは随時改築を実施した。【下水道課】									
	（今後の対応）	引き続き効率的な管路の更新を推進するとともに、基幹管路や重要管路の更新選定見直しを図りたい。【水道課】 今後も伊東市ストックマネジメント計画に基づき実施するとともに、当該計画外の緊急度が高い管きよについて随時改築を実施するなど、目標値よりも実績値を上回るよう努める。【下水道課】									

O5 既存木造住宅の無料耐震診断及び耐震補強工事の推進			達成状況	指標数	2	2	2	2	2	単位	担当課
			達成数	0	2	2	0	0			
			達成率	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7			
O501	昭和56年5月以前に建築された木造住宅を対象とした「耐震性向上の必要性」の啓発	個別訪問の実施回数	R2	目標値	3	3	3	3	3	回	建築住宅課
			1回	実績値	1	8	28				
				評価	× 未達成	○ 達成	○ 達成				
O502	補助制度を活用した無料耐震診断及び耐震補強工事の推進	耐震診断件数及び補強工事件数	R2	目標値	50	50	50	50	50	件	建築住宅課
			50件	実績値	41	125	77				
				評価	× 未達成	○ 達成	○ 達成				
年度評価	R3	O501	コロナ禍の緊急事態宣言等により、計画通りに個別訪問に回れず目標回数を上回ることができなかった。令和4年度はタイミングを見逃すことなく個別訪問に回り、コロナ補においては電話での啓発も行っていく。								
		O502	コロナ禍により個別訪問の啓発活動が減ったことで、耐震診断の件数が大きく減少し目標件数を上回ることができなかった。令和4年度は耐震診断件数を増やすことを心掛け、補強工事につながる効果を図る。								
	R4	O501	コロナ禍の中、計画通りに個別訪問を実施し、目標回数を上回ることができた。引き続き個別訪問を行い、啓発を図る。								
		O502	昨年度の対応を踏まえ、DMの送付による周知に努め、さらに個別訪問の実施も行ったことで耐震診断の件数が上回り目標件数を大きく上回ることができた。引き続き周知に努め、継続的な目標値の達成を図る。								
R5	O501	コロナ禍が明けたことで、当初の計画以上の個別訪問を計画し、目標回数を大幅に上回ることができた。引き続き個別訪問を行い、啓発を図る。									
	O502	戸別訪問の回数を増やしたことで、目標値を上回り、更に、1月の能登半島地震による問合せが増えた結果、次年度の耐震診断の予約にもつながっている。									
中間評価	O501（達成状況）			B+							
	（実績評価）	コロナ禍を経て、個別訪問の回数を増やすことが可能となり、目標回数を上回ることができた。更に、1月の能登半島地震による影響も重なり、次年度の耐震診断の予約にもつながっている。									
	（今後の対応）	今後は新型コロナウイルスの影響を受けることが無くなることから、今まで以上に積極的に個別訪問を実施することで市民への周知に努め、目標値を上回る計画を図る。									
	O502（達成状況）			B+							
（実績評価）	補強工事に加え増設した除却工事の補助メニューが2年目を迎えたことで、周知が広まり補強以外に除却の件数も増え、目標値を上回ることができた。										
（今後の対応）	例年以上に広報等による周知を高めながら、個別訪問の回数を増やすことで、所有者に実施を促す。更に、1月の能登半島地震による問合せが増えた結果、次年度の耐震診断の予約にもつながっていることから、今後も推進していく。										

担当課	危機対策課・市民課	施策1-4の全指標達成率					
政策目標	1 安全で安心して暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	4 生活安全の推進	指標数	16	16	16	16	16
目指す姿	市民等が交通事故や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる	達成数	8	11	10	0	0
		達成率	50.0%	68.8%	62.5%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)		指標数	2	2	2	2	2			
		達成数	2	2	2	0	0			
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
成果指標 1	市内における刑法犯認知件数 (暦年)	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	324件	目標値	310	300	290	280	270	件
			実績値	245	293	257			以下	
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
目標値の考え方	市内における刑法犯認知件数は、令和元年実績324件であり、過去10年において、54.4%と大幅に減少している。しかし、各年における減少率には差があるため、直近3年間の平均減少率を計算し、各年3%程度減少を見込む中で、令和7年270件とした。									
成果指標 2	市内における人身交通事故発生件数 (暦年)	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	367件	目標値	330	310	290	275	260	件
			実績値	270	267	239			以下	
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
目標値の考え方	市内における人身交通事故発生件数は、令和元年実績367件であり、過去10年において、37.3%と減少している。しかし、各年における減少率には差があるため、直近5年間の平均減少率を計算し、各年5.3%程度減少を見込む中で、令和7年260件とした。									
R3年度	1 (実績評価) ・目標値を十分達成できており、前年比ベースでも13件減少となった。コロナ禍における感染防止のため、啓発活動を自粛することはあったが、市民と接触しない活動(青パト活動等)等、地道な活動が結果につながった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今後も啓発活動は制約されると思われるため、メルマガ等を利用した防犯啓発活動をより重視し、密にならない活動を通じて、更なる目標の達成に努めていく。									
	2 (実績評価) ・目標値を十分達成できており、諸般の交通安全啓発活動が実績につながっていると推察できる。 (次年度修正点) ・今後についても、当該実績値を維持できるよう基本的には現状の活動を踏襲しつつ、新しい活動を取り入れていく。									
R4年度	1 (実績評価) ・前年度と比較し、件数が増加したが目標は達成している。 (次年度修正点) ・これまで新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、啓発活動に一定の制約があったが、令和5年度からは制約がなくなるため、より啓発活動に注力し、目標の達成とともに前年比減を目指していく。									
	2 (実績評価) ・目標を十分に達成できており、諸般の交通安全啓発活動が実績に繋がっている。 (次年度修正点) ・今後についても、継続して目標達成となるよう基本的には現状の活動を踏襲し、新しい活動内容についても検討していく。									
R5年度	1 (実績評価) ・目標を十分達成できており、啓発活動等の地道な活動が実績につながっている。 (次年度修正点) ・目標の達成とともに前年比減を目指し、引き続き啓発活動に注力していく。									
	2 (実績評価) ・目標を十分達成できており、関係機関と連携した交通安全啓発活動が実績につながっている。 (次年度修正点) ・継続して目標達成となるよう、現状の交通安全啓発活動に注力していく。									
中間評価	1 (達成状況)	A								
	(実績評価)	・実績値に増減はあるものの、目標は達成しており、地道な活動が実績につながっている。								
	(今後の対応)	・目標の達成とともに前年比減を目指し、引き続き青色防犯パトロール等の啓発活動に注力していく。								
	2 (達成状況)	A								
(実績評価)	・関係機関と連携した交通安全啓発活動が実績につながっている。									
(今後の対応)	・前年比減を目指し、関係機関と連携した交通安全啓発活動を引き続き実施していく。									

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）			指標数	14	14	14	14	14	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
			達成数	6	9	8	0	0		
			達成率	42.9%	64.3%	57.1%	0.0%	0.0%		
O1 特殊詐欺に対する社会的認知度の向上	達成状況	指標数	2	2	2	2	2			
		達成数	0	2	2	0	0			
		達成率	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O101 防犯用電話自動応答録音機の貸出情報の発信	防犯用電話自動応答録音機の貸出回数	※1	目標値	10	15	20	25	30	台	危機対策課
			実績値	3	20	27			以上	
O102 年金支給日におけるオレオレ詐欺撲滅キャンペーンの推進	オレオレ詐欺撲滅キャンペーンの開催回数	R1	目標値	12	12	12	12	12	回	危機対策課
		12回	実績値	11	12	12			以上	
年度評価	R	O101 市内における特殊詐欺被害件数は減少しているものの、被害額は増加しており、自動応答録音機の貸出を必要とする市民に必要な情報が届いていないために、目標値を大幅に下回ってしまった。次年度以降はメルマガ等を利用して、情報発信を強化していく。								
		O102 定例の撲滅キャンペーンを毎月各金融機関前で実施したが、まん延防止等重点措置の対象期間となった8月については、実施を見合わせたため、目標達成とならなかった。今後についても、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、関係機関と連携して毎月開催を目指していく。								
		O101 令和4年度については目標値を上回る累計20台の貸し出しとなった。増え続ける特殊詐欺の被害を未然に防ぐため、令和5年度以降も目標値達成を目指し、必要な家庭への貸出につながるよう周知を図っていく。								
		O102 ATMが設置されているショッピングモールや銀行等で、オレオレ詐欺撲滅のチラシや啓発グッズの配布を毎月行った。令和5年度以降も開催回数の目標値達成を目指すとともに、実施日についても年金支給日等の効果的な日程での実施を心掛けていく。								
		O101 令和5年度についても目標値を上回っているが、依然としてサギ電話が多く発生していることから、引き続き警察等と連携した活動により、必要な家庭への貸出につなげ、目標達成を目指していく。								
中間評価	R	O102 金融機関、スーパー、ショッピングモール等において、オレオレ詐欺被害防止啓発活動を年金支給日等の効果的な日程で実施することができた。引き続き防犯協会等と連携し、目標達成に向けた啓発活動を実施していく。								
		O101（達成状況） B+								
		（実績評価）	・貸出回数が年々増加しており、貸出に向けた活動が実績につながっている。							
		（今後の対応）	・令和7年度の目標達成に向け、新たな活動内容を検討しつつ、引き続き、警察等と連携した活動を実施していく。							
評価	R	O102（達成状況） B								
		（実績評価）	・防犯協会と連携することにより、月に1度の効果的な啓発活動を実施することができている。							
		（今後の対応）	・依然としてオレオレ詐欺等の被害が発生していることから、引き続き防犯協会等と連携し、継続した啓発活動を実施していく。							

※1 令和2年度からの新たな取組であり、実績未確定のため基準値を一とした。

O2 犯罪のない環境づくりの促進			達成状況	指標数	4	4	4	4	4		
				達成数	1	2	1	0	0		
				達成率	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%		
主な内容			管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O201	青色防犯パトロールの充実	青色防犯合同パトロール実施回数	R1	目標値	13	14	15	16	17	回	危機対策課
			12回	実績値	11	12	10				
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上		
O202	不審者対応訓練等の訓練補助	不審者対応訓練の実施回数	R1	目標値	1	1	1	1	1	回	危機対策課
			1回	実績値	0	1	0				
				評価	× 未達成	○ 達成	× 未達成		以上		
O203	メルマガ等による定期的な情報発信	防犯啓発に関するメルマガジンの発信回数	—	目標値	4	4	4	4	4	回	危機対策課
			※2	実績値	0	2	0				
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成		以上		
O204	犯罪不安〇運動期間中の防犯啓発事業の充実	安全・安心フェアの市民来場者数	—	目標値	100	150	200	250	300	人	危機対策課
			※3	実績値	150	200	200				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成		以上		
年度 評価	R3	O201 伊東市生活安全推進協議会の加盟団体である地域安全推進員が中心となって実施している。まん延防止等重点措置の対象期間となった8月については、実施を見合わせたため、目標達成とならなかったが、今後については、参加人数を増やすなど、次年度以降もより規模を大きくして実施できるよう努めていく。									
		O202 新型コロナウイルス感染症の影響により、訓練を中止したため目標達成とならなかった。次年度は、感染症の状況を注視する中で、警察等と調整を図り実施できるよう努めていく。									
		O203 市内における不審電話等の状況により、不定期での発信は行ったが、定期的な情報発信は未実施であった。今後については、警察等の関係機関と協議する中で、定期的な防犯に関する情報発信を企画していく。									
		O204 新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度は展示のみの開催となったが、ショッピングモールでの開催のため集客効果が高く目標達成となった。今後については、感染症の状況を注視する中で、本来の形での開催を目指し関連団体と検討していく。									
	R4	O201 令和4年度については毎月1回の計12回実施した。令和5年度以降については、毎月1回の実施に加え、別に実施する啓発運動やキャンペーン等の開催時にも実施を検討し、目標値の達成を目指していく。									
		O202 警察が事業者を対象に実施する不審者対応訓練の補助的な役割として参加し、事業者の対応技術の習得及び向上を図っていく。(令和4年度はコンビニ強盗の対応訓練)									
		O203 令和4年度については、防犯用電話自動応答録音機の貸出及び県警が新しく開発したアプリ「どこでもボリス」の周知のためのメルマガジンの配信を行った。令和5年度については、市民に必要な防犯情報を届けるため、配信内容を精査する中で目標回数の達成も目指していく。									
		O204 令和4年度からは、それまで新型コロナウイルス感染症の影響により展示のみとしていたフェアの内容を従前の内容に戻して実施し、目標値を上回る来場者数となった。今後についても、より多くの市民に来場いただけるよう内容を精査し、周知を図っていく。									
	R5	O201 令和5年度については、毎月1回(8月・3月を除く)の計10回実施した。令和6年度以降については、毎月1回の実施に加え、別に実施する啓発運動やキャンペーン等の開催時にも実施を検討し、目標値の達成を目指していく。									
		O202 令和5年度については、警察が実施する不審者対応訓練に参加することができなかつたため、令和6年度については、警察等と調整を図り実施できるよう努めていく。									
		O203 令和5年度については、メルマガジンを活用した防犯啓発を実施しなかつたが、令和6年度については、市民に必要な防犯情報を届けるため、警察等の関係機関と防犯に関する情報発信を企画し、目標回数の達成を目指していく。									
		O204 令和5年度についても、前年と同程度の規模で実施することで目標値を上回った。今後についても、より多くの市民に来場いただけるよう内容を精査し、周知を図っていく。									
中間 評価	O201 (達成状況) D										
	(実績評価)	・児童の下校時刻に合わせて毎月25日に合同パトロールを実施していることから、夏休み期間中等で未実施の月もあり、目標を達成することができなかった。									
	(今後の対応)	・防犯協会と連携する中で、毎月1回の実施に加え、別に実施する啓発運動やキャンペーン等の開催時にも実施を検討し、目標の達成を目指していく。									
	O202 (達成状況) C										
	(実績評価)	・警察が実施する不審者対応訓練の補助的な役割として参加しているが、訓練の中止や日程の都合で参加できず、未達成となることがあった。									
	(今後の対応)	・令和6年度以降については、警察と実施日の調整をする中で積極的に参加し、目標の達成を目指していく。									
	O203 (達成状況) D										
	(実績評価)	・市内における不審電話等の状況により、不定期での発信は行ったが、定期的な情報発信により目標を達成することができなかった。									
	(今後の対応)	・令和6年度以降については、警察等の関係機関と防犯に関する情報発信を企画し、目標の達成を目指していく。									
	O204 (達成状況) B										
	(実績評価)	・各年度の目標は達成できており、小学校へのチラシの配付や新聞社等への広報活動が実績につながっている。									
	(今後の対応)	・令和6年度以降については、前年度より規模を拡大し屋内での展示等も実施することで、来場者の増加を目指していく。									

※2 令和3年度からの新たな取組のため基準値を一とした。

※3 令和元年度は、台風の影響により中止。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、展示のみ実施し来場者数をカウントしていないため、基準値を一とした。

03 歩行者の安全確保			達成状況	指標数	4	4	4	4	4		
				達成数	2	2	2	0	0		
				達成率	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0301 交通指導員による交通指導	市内小学校への配置率	R1 70%	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課	
			実績値	66.0	78.0	86.0					
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
0302 交通安全指導員による交通指導	交通安全教室等の交通安全指導の実施回数	R1 194回	目標値	200	200	200	200	200	回	危機対策課	
			実績値	165	188	184					
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
0303 ピカッと作戦の推進	ピカッと作戦事業の実施回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回	危機対策課	
			実績値	1	1	1					
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
0304 通学路点検事業の補助	通学路点検事業の実施回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回	危機対策課	
			実績値	1	1	1					
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
年度評価	R3	0301 現在9小学校中6小学校への配置となっている。交通指導員については、慢性的な人員不足となっているため、今後については、人員募集のチラシを作成し配布する等告知し、人員不足の解消に努めていく。(未配置：東小・西小・池小)									
		0302 新型コロナウイルス感染症の影響により、教室を中止するケースが相次ぎ目標達成とならなかったが、代替えとして交通安全の知識を深めるためのDVDを作成し、幼稚園等に配布した。今後についても、状況に応じた交通安全指導を実施していく。									
		0303 年末の交通安全県民運動において、反射材を配布するなど啓発活動を実施したため目標達成できた。次年度も工夫して実施していきたい。									
		0304 各小学校、幼稚園、保育園から点検の要望のあった、通学路及び園児等の移動経路について3日間をかけ危険箇所の点検を実施した。今後についても、しっかりと各学校及び園からの意見を聴取し、危険箇所の点検に努めていく。									
年度評価	R4	0301 令和4年度については、市内9小学校中7小学校に交通指導員を配置した。小学校統廃合により令和5年度からは7小学校となる。引き続き全ての小学校への配置を目指していく。									
		0302 交通指導員については、新型コロナウイルス感染症の影響で思うように開催できない時期が続いていたが、令和4年度も目標値の達成には至らなかったものの実施回数は増となっている。令和5年度以降は、目標回数を達成できるよう交通安全指導員との更なる連携を図っていく。									
		0303 冬季における早めのライト点灯を呼びかける本事業については、年末の交通安全県民運動において、反射材を配布するなど啓発活動を実施したため目標達成とした。次年度以降も交通事故件数の減少に寄与するよう、工夫した事業実施を継続していく。									
		0304 各小学校、幼稚園、保育園から点検の要望のあった、通学路及び園児等の移動経路について2日間をかけ危険箇所の点検を実施した。今後についても、各学校及び園からの意見を聴取し、危険箇所の点検に努めていく。									
年度評価	R5	0301 令和5年度については、市内7小学校中6小学校に交通指導員を配置した。交通指導員は2人増員となり10人体制となったが未配置(池小)の解消には至っていないため、引き続き人員不足の解消に努めるとともに、全ての小学校への配置を目指していく。									
		0302 交通安全指導については、令和5年度についても目標の達成には至らなかったが、昨年並みの実施回数となっている。目標回数を達成できるよう交通安全指導員との更なる連携を図っていく。									
		0303 年末の交通安全県民運動において、反射材を配布するなど啓発活動を実施したため目標達成とした。次年度以降も効果的な啓発活動ができるよう工夫した事業の実施を検討し、交通事故防止を図っていく。									
		0304 各小学校、幼稚園、保育園から点検要望があった通学路及び園児等の移動経路について、2日間をかけ危険箇所の点検を実施した。今後についても、各学校及び園からの意見を聴取し、危険箇所の点検に努めていく。									
中間評価	0301 (達成状況) D										
	(実績評価)	・市内小学校の統廃合により、配置率は増加傾向にあるものの、慢性的な人員不足の影響により目標の達成が困難となっている。									
	(今後の対応)	・交通指導員募集チラシの配布や新聞広告への掲載等により、引き続き人員不足の解消に努め、目標の達成を目指していく。									
	0302 (達成状況) D										
	(実績評価)	・交通安全教室等、依頼を受け毎年実施している事業が多く、年間スケジュールを基に事業を実施しており、目標達成のためには各機関との調整が重要となってくる。									
	(今後の対応)	・現時点では未達成が続いているが、目標値と実績値に大差はないことから、月平均で2回増加できるよう、新規事業の検討も含め交通安全指導員との更なる連携を図り、目標の達成を目指していく。									
	0303 (達成状況) A										
	(実績評価)	・関係機関と連携することにより、効果的な啓発活動が実施できている。									
(今後の対応)	・引き続き目標の達成を目指すとともに、より効果的な啓発活動ができるよう、関係機関と連携し事業を実施していく。										
0304 (達成状況) A											
(実績評価)	・関係課等と連携して実施することにより、目標を達成することができている。										
(今後の対応)	・引き続き、各学校及び園からの意見を聴取し、危険箇所の点検に努めていく。										

O4 交通事故を発生させない環境づくり		達成状況	指標数	2	2	2	2	2	単位 担当課		
			達成数	1	1	1	0	0			
			達成率	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7			
O401	高齢者運転免許証自主返納支援事業の促進	高齢者運転免許証自主返納者数	R1	目標値	440	450	460	470	480	人	危機対策課
			367人	実績値	331	268	277				
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
O402	四季の交通安全運動における交通安全啓発事業の充実	四季の交通安全運動期間中における交通安全啓発に関するメールマガジンの発信回数	—	目標値	4	4	4	4	4	回	危機対策課
			※4	実績値	4	4	4				
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
年度評価	R3	O401 免許返納後の代替の移動手段の確立等、危機対策課では対応できない課題もあり目標達成とはならなかった。今後についても、メールマガ等を通じた情報発信を継続し、高齢者の自主返納を促していく。									
	R4	O402 季節ごとに実施する交通安全運動の初日に、市の広報及びメールマガジンで交通安全啓発に関する情報を発信した。今後についても、同様に実施していく。									
	R4	O401 本市では、免許証返納者に対し運転経歴証明書の発行手数料を補助しており、静岡県警では運転免許自主返納者等サポート事業として、自主返納者に多様なインセンティブを付与する事業を実施しているが、返納者数は減となった。今後については、情報発信を引き続き継続していく中で、補助やサポート事業についても広く周知し、高齢者の自主返納を促していく。									
	R5	O402 季節ごとに実施する交通安全運動の初日に、市の広報及びメールマガジンで交通安全啓発に関する情報を発信した。今後についても、同様に実施していく。									
	R5	O401 免許返納後の代替の移動手段の確立等、危機対策課では対応できない課題もあり目標達成とはならなかった。今後についても、情報発信を引き続き継続していく中で、補助やサポート事業についても広く周知し、高齢者の自主返納を促していく。									
中間評価	O401 (達成状況) D										
	(実績評価)	・本市の地形上、自動車は欠かすことのできない移動手段であり、自動車に替わる代替交通も不十分であることから、自主返納者数が伸び悩む結果となった。									
	(今後の対応)	・免許返納後の代替の移動手段の確立等、危機対策課では対応できない課題もあるが、補助やサポート事業についても広く周知し、高齢者の自主返納を促していく。									
	O402 (達成状況) A										
	(実績評価)	・広報いとうやSNSを活用した情報発信により、市民への周知を効果的に行うことができた。									
(今後の対応)	・今後も同様に実施していくことで、市民への周知を図っていく。										

※4 令和3年度からの新たな取組のため基準値を一とした。

05 消費者被害防止対策及び正しい消費行動の推進		達成状況	指標数	2	2	2	2	2	単位 担当課		
			達成数	2	2	2	0	0			
		基準値	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
主要内容		管理指標		R3	R4	R5	R6	R7			
0501	消費生活相談の強化	研修会の受講回数	R1	目標値	18	18	18	18	18	回	市民課
			14回	実績値	28	22	29				
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成			以上		
0502	消費生活特別講座の開催等の啓発活動の充実	啓発活動の実施回数	R1	目標値	52	54	56	58	60	回	市民課
			50回	実績値	53	58	73				
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成			以上		
年度評価	R3	0501 新型コロナウイルス感染症拡大により、オンラインで開催される研修が増え、それらを利用することで目標を達成できた。悪質・巧妙化していく消費者トラブルの解決のため、今後も積極的に研修を受講していく。									
		0502 消費者被害防止のため、市民を対象とした消費生活特別講座、街頭啓発、メールマガジン配信、広報いとうでの啓発を行った。今後も継続的に啓発活動を実施していく。									
	R4	0501 オンラインで開催される研修会へ積極的に参加し目標を達成できた。悪質・巧妙化していく消費者トラブルの解決のため、今後も積極的に研修を受講していく。									
		0502 消費者被害防止のため、市民を対象とした消費生活特別講座、街頭啓発、メールマガジン配信、広報いとう、市ホームページでの啓発を行った。今後も継続的に啓発活動を実施していく。									
	R5	0501 集合研修、オンライン研修等に積極的に参加し目標を達成できた。ますます高度化、複雑化する消費者トラブルの解決のため、今後も積極的に研修を受講していく。									
	0502 消費者被害防止のため、市民を対象とした消費生活講座、街頭啓発、SNSによる配信、広報いとう、市ホームページでの啓発に加え、終活講座、民生委員児童委員定例会、居場所に出向き高齢者向けの出前講座を実施した。										
中間評価	0501 (達成状況) A										
	(実績評価)	・国や県の実施する集合研修やオンライン研修に加え、相談業務の合間にもDラーニング（遠隔研修）に取り組んでいることから、すでに令和7年度の目標を達成している。									
	(今後の対応)	・消費者トラブルは日々高度化、複雑化、多様化しているため、引き続き各種研修に参加し、相談に必要な知識の習得及び技術の向上を図る。									
	0502 (達成状況) A										
	(実績評価)	・定期的な情報発信及び啓発活動のほか、相談が増えている事例について臨時的にSNSや市ホームページにより情報発信を行った。また、短時間ではあるが高齢者向けの出前講座も開始し、すでに令和7年度の目標を達成している。									
	(今後の対応)	・引き続き各種啓発活動を行うとともに、新たに広報いとうへの連載のほか、出前講座の回数や内容の充実を図り、消費者被害防止に取り組む。									

担当課	危機対策課	施策1-5の全指標達成率					
政策目標	1 安全で安心して暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	5 消防体制の強化（消防団体制の強化・消防水利の充実）	指標数	9	9	9	9	9
目指す姿	市民が火災を始めとする災害から守られ安心して暮らすことができる	達成数	5	6	6	0	0
		達成率	55.6%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)		指標数	4	4	4	4	4		
		達成数	1	3	2	0	0		
		達成率	25.0%	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
成果指標 1	消防団員充足率<4月1日時点>	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R2	目標値 100	100	100	100	100	%	危機対策課
		99.2%	実績値 97.6	93.5	88.9				
			評価 × 未達成 × 未達成 × 未達成						
目標値の考え方	災害等発生時に市民の生命・財産を守る消防活動を安全かつ円滑に実施するため、消防団員充足率を100%に設定した。								
成果指標 2	公務災害件数	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値 0	0	0	0	0	件	危機対策課
		1件	実績値 3	0	3				
			評価 × 未達成 ○ 達成 × 未達成						
目標値の考え方	災害活動・消防団活動を安全に実施することを目標に、公務災害発生件数を0に設定した。								
成果指標 3	夜警の実施率	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値 100	100	100	100	100	%	危機対策課
		100%	実績値 66.1	100	100				
			評価 × 未達成 ○ 達成 ○ 達成						
目標値の考え方	火災予防広報の実施及び火災発生時での迅速な対応を目標に、夜警実施率を100%に設定した。								
成果指標 4	消防水利充足率	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値 76	77	78	84 (79)	85 (80)	%	危機対策課
		75%	実績値 76	83	83				
			評価 ○ 達成 ○ 達成 ○ 達成						
目標値の考え方	消防水利不足解消を図るため、未整備地区に消防水利を整備することを目標に、消防水利充足率を80%以上とした。								
R3年度	1 (実績評価) ・消防団員条例定数506人に対し、494人の登録となった。 (次年度修正点) ・分団定数を満たすことが困難な地域もあるが、地域・分団からの意見を聞き取り、地域に過度な負担がかからないよう実情に応じた消防団員の募集を働きかけていく。								
	2 (実績評価) ・火災出動時での怪我2件に加え、地域の依頼により警戒出動した際の怪我1件、計3件の公務災害が発生してしまった。 (次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹底・幹部会議等で事故防止の啓発等を行い、公務災害の発生防止に努める。								
	3 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた夜警日数のうち19日間を中止としたため、目標を達成できなかった。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、適切な夜警巡回を実施する。								
	4 (実績評価) ・消防水利未整備地区に4基の消火栓を新設し、目標を達成することができた。(整備地区547÷全地区718×100) (次年度修正点) ・消防水利未整備地区への消火栓等の新設について、今後も引き続き伊東消防署・伊東市水道課と協議検討していく。								
R4年度	1 (実績評価) ・消防団条例における定数506人に対し、473人の登録となった。 (次年度修正点) ・若年層消防団員等の減少に伴い、地域によっては分団定数を満たすことができない分団も出てきていることから、引き続き消防団員の募集を働きかけていくことに加え、現状に見合った条例定数の見直しも含めた協議をしていく。								
	2 (実績評価) ・消防団活動中の公務災害は発生しなかった。 (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の安全確認の徹底、事故防止啓発を図り公務災害の発生防止に努める。								
	3 (実績評価) ・予定していた日数の夜警を実施できた。(雨天等による中止を除く) (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動の実施に努める。								
	4 (実績評価) ・消防水利充足率の算出を見直した結果、整備地区数が増加し、充足率が向上した。 (整備地区593÷全地区718×100) (次年度修正点) ・消防水利未整備地区への消火栓等の新設について、引き続き、伊東消防署・伊東市水道課と協議検討していく。								

R5年度	1 (実績評価)	<p>・消防団条例における定数506人に対し、450人の登録となった。</p> <p>(次年度修正点) ・分団定数を確保することが困難な地域が増えているため、「分団定数に関するアンケート」を実施し、分団における諸問題を聞き取り、分団に見合った定数について協議していく。</p>
	2 (実績評価)	<p>・火災出動時での怪我2件に加え、地域の依頼により警戒出動した際の怪我1件、計3件の公務災害が発生してしまった。</p> <p>(次年度修正点) ・災害活動中の安全確認の徹底・幹部会議等で事故防止の啓発等を行い、公務災害の発生防止に努める。</p>
	3 (実績評価)	<p>・予定していた日数の夜警を実施できた。(雨天等による中止を除く)</p> <p>(次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動の実施に努める。</p>
	4 (実績評価)	<p>・消防水利未整備地区に2基の消火栓を新設したため、充足率が前年比0.3%増加したが、年間設置目標の5基を達成することは出来なかったため、年間充足率1%の上昇には届かなかった。(整備地区595÷全地区718×100)</p> <p>(次年度修正点) ・令和5年度実績値が当初設定していた令和7年度目標値を上回ったため、さらなる充足率の向上を目標として、令和6年度、令和7年度の目標値を上方修正する。</p>
中間評価	1 (達成状況)	D
	(実績評価)	<p>・令和2年度以降、団員の定数確保が難しく、条例定数である506人を切り、年々団員数が減少となった。</p> <p>(今後の対応) ・分団定数をはじめとした、分団の抱える諸問題を聞き取り、定数の削減及び消防団活動の見直しを団本部と協議していく。</p>
	2 (達成状況)	C
	(実績評価)	<p>・災害活動中の安全確認の徹底を周知してきたものの、令和4年度以外、複数回の公務災害が発生してしまい、公務災害の発生を食い止めることが出来なかった。</p> <p>(今後の対応) ・災害活動中の安全確認の徹底・幹部会議等で事故防止の啓発等を行い、公務災害の発生防止に努める。</p>
	3 (達成状況)	B
	(実績評価)	<p>・令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、日数を減らして実施した。令和4年度以降は、通常通りの期間について夜警を実施することができた。(雨天等による中止を除く)</p> <p>(今後の対応) ・引き続き、適切な夜警活動の実施に努める。</p>
	4 (達成状況)	A
	(実績評価)	<p>・令和4年度に消防水利充足率の算出を見直した結果、整備地区が増加し、充足率が上昇した。各年度、年間1%の充足率を上昇させるため、年間5基の新設消火栓を設置目標としていたが、令和3年度4基、令和4年度2基、令和5年度2基となり各年度1%の上昇には届かなかった。</p> <p>(今後の対応) ・令和5年度実績値が当初設定していた令和7年度目標値を上回ったため、さらなる充足率の向上を目標として、令和6年度、令和7年度の目標値を上方修正する。</p>

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）				指標数	5	5	5	5	5	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
				達成数	4	3	4	0	0		
				達成率	80%	60%	80%	0%	0%		
O1 消防団員の確保	達成状況			指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	0	0	1	0	0		
				達成率	0%	0%	100%	0%	0%		
	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O101	地域・事業者等への入団促進に関する広報	広報いとうへの掲載回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回	危機対策課
				実績値	0	0	1				
				評価	× 未達成	× 未達成	○ 達成				
年度評価	R3	O101 消防団行事等の実施に伴う広報は掲載できたが、入団促進に関する広報は掲載できなかった。今後は消防団行事等の実施に伴う広報を掲載する際、合わせて入団促進に関する広報を掲載するとともに、年度末等に新規入団者募集の広報を掲載する。									
	R4	O101 消防団行事等の実施に伴う広報は掲載できたが、入団促進に関する広報は掲載できなかった。今後は消防団行事等の実施に伴う広報を掲載する際、合わせて入団促進に関する広報を掲載するとともに、年度末等に新規入団者募集の広報を掲載する。									
	R5	O101 新規消防団員入団募集に関する広報を掲載することができた。									
中間評価	(達成状況) B										
	(実績評価)	・広報いとうにて、新規消防団員募集に関する記事を掲載した。現在の消防団活動や、処遇について周知することができた。									
	(今後の対応)	・若年層を中心に、消防団の活動内容や入団後の待遇等、紙媒体ではない方法でアピールできるよう検討していく。									

O2 消防団員の活動環境の整備・向上				達成状況	指標数	2	2	2	2	2	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
				達成数	2	2	2	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O201	消防ポンプ車・安全装備品等の更新	安全装備品整備率	R1 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課
				実績値	100	100	100				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
O202	常備消防との合同訓練等の実施	訓練の実施回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回	危機対策課
				実績値	3	4	5				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
年度評価	R3	O201 消防団活動に必要な安全装備品（活動服・アポロキャップ・編上靴）を購入・支給することができた。									
	R4	O202 秋季消防総合演習・熱海市消防団合同訓練等、常備消防との合同訓練を実施することができた。									
	R5	O201 消防団活動に必要な資機材・安全装備品（小型動力ポンプ・活動服・アポロキャップ・編上靴）を購入・支給することができた。									
中間評価	O202 秋季消防総合演習（2会場）・熱海市消防団合同訓練・伊豆市消防団合同訓練において、常備消防との合同訓練を実施することができた。										
	(達成状況)	A									
	(実績評価)	・消防団に必要な資機材・安全装備品の要望を反映し、購入・支給することができた。									
	(今後の対応)	・消防団に必要な資機材・安全装備品の要望を聞き取り、消防団活動の環境整備を進めていく。									
年度評価	R3	O201 消防団活動に必要な資機材・安全装備品（小型動力ポンプ・活動服・アポロキャップ・編上靴・防寒着・ヘルメット）を購入・支給することができた。									
	R4	O202 秋季消防総合演習（2会場）・東伊豆町消防団合同訓練・熱海市消防団合同訓練・伊豆市消防団合同訓練において、常備消防との合同訓練を実施することができた。									
	R5	O202 秋季消防総合演習（2会場）・東伊豆町消防団合同訓練・熱海市消防団合同訓練・伊豆市消防団合同訓練において、常備消防との合同訓練を実施することができた。									
中間評価	O201 (達成状況) A										
	(実績評価)	・年間を通して、常備消防及び他市消防団と連携強化のための訓練を実施することができた。									
	(今後の対応)	・常備消防と様々な災害想定を検討しながら、訓練を実施していく。									

03 消防水利の充実強化			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	1	1	0	0		
				達成率	100%	100%	100%	0%	0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0301 水利希薄地域への耐震性貯水槽の適切かつ計画的な建設	消防水利充足率の向上	R1	目標値	76	77	78	84 (79)	85 (80)	%	危機対策課	
		75%	実績値	76	83	83					
		評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成			以上			
R3	0301 消防水利未整備地区に4基の消火栓を新設し、充足率を向上することができた。										
R4	0301 消防水利充足率の算出を見直した結果、整備地区数が増加し、充足率が向上した。										
R5	0301 消防水利未整備地区に2基の消火栓を新設したものの、年間設置目標の5基を達成することは出来なかったため、年間充足率1%の上昇には届かなかった。										
中間評価	0301 (達成状況) A										
	(実績評価)	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に消防水利充足率の算出を見直した結果、整備地区が増加し、充足率が上昇した。各年度、年間1%の充足率を上昇させるため、年間5基の新設消火栓を設置目標としていたが、令和3年度4基、令和4年度2基、令和5年度2基となり各年度1%の上昇には届かなかった。 									
(今後の対応)	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度実績値が当初設定していた令和7年度目標値を上回ったため、さらなる充足率の向上を目標として、令和6年度、令和7年度の目標値を上方修正する。 										

04 消防団への入団意欲の増強			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	0	0	0	0		
				達成率	100%	0%	0%	0%	0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0401 ありがとう消防団応援事業所の登録数増加	登録事業所数	R1	目標値	26	85	90	95	100	か所	危機対策課	
		24か所	実績値	79	80	80					
		評価	○ 達成	× 未達成	× 未達成			以上			
R3	0401 伊東商工会議所や伊東観光協会に働きかけ、事業所登録の募集を行い、目標を達成することができた。										
R4	0401 消防団各会議等において、消防団員に当該事業を説明し、事業所登録を働きかけるも目標を達成できなかった。商工会議所、飲食業組合等から新規事業所等の情報をいただき、引き続き登録事業所の増加に努める。										
R5	0401 消防団各会議等において、消防団員に当該事業を説明し、事業所登録を働きかけるも目標を達成できなかった。商工会議所、飲食業組合等から新規事業所等の情報をいただき、引き続き登録事業所の増加に努める。										
中間評価	0401 (達成状況) C										
	(実績評価)	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に伊東商工会議所や伊東観光協会に働きかけ、事業所登録の募集を行った結果、令和元年度と比較し56件の増加となり、大幅に目標値を上回ることができた。令和4年度以降は消防団各会議等において、消防団員に当該事業を説明し、事業所登録について働きかけるも、登録件数は横ばいとなっている。 									
(今後の対応)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、消防団各会議において、当該事業の趣旨を説明し、協力依頼ができそうな企業を消防団員から情報提供してもらおう等、登録事業者数の増加を目指していく。 										